

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービス チャイルドパークくまの家 津島校		公表日 R7年 12月 23日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		国の基準以上の広さで支援を実施しております。ワンフロアですがカーテンで仕切って小部屋を作ることができます。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5		児童10人に対して児童指導員2人という国の人員配置基準に加え加算要件を満たす人員配置を行っております。 教員免許保持者、保育士、5年以上の経験をもつ児童指導員、福祉分野での経験と専門性を備えたスタッフ配置に務めております	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5		現状、玄関前のバリアフリー化は対象者がいないため、施工予定なし。 必要があれば導入を考えていきます。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		毎日支援終了後清掃を行っております。カーテンで仕切ることによって勉強部屋を作ることができます。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	1	カーテンで仕切ることによってクールダウンする部屋を作ることができます	カーテンで仕切る形になるため音漏れが甘い。 今後改善が必要
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5		支援開始前または終了後にミーティングを行い、支援の振り返り、目標設定等を実施しています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		事業所評価アンケート調査を実施し、結果を公表するとともに、職員間でも結果を共有し、業務改善に努めております。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		5		今後第三者による外部評価を検討していきます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		社内研修に加え、各職員は外部研修に参加しております。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		5領域に沿った内容から支援プログラムを作成し、HPでのにて公表をおこなっております。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5		アセスメントを行い、お子様の特性、保護者様からのニーズを踏まえた上で、全スタッフで協議をし個別支援計画を作成しております。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		支援計画作成前、作成後には全スタッフにてミーティングを行っております。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		計画書を全スタッフで共有し、計画に沿った支援を行っております。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		アセスメントシートを活用しております。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		ガイドラインに基づき個別支援計画にて『本人支援』『家族支援』『移行支援』の目標を設定し、日頃の支援を実施しています。	

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		毎月の活動計画を立案し、活動内容の確認を全職員で行っております。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	1	感覚行動や認知、学習、文化活動と様々なプログラムを取り入れる工夫をしております。	月曜 習字、火曜 運動、水曜 工作クッキング 木曜 個人活動 金曜グループ活動を考えてます。慣れてきたら曜日活動の変更も考えていきます
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5		個別活動、集団活動を組み合わせた計画を作成し、支援を実施しています。また、集団活動においては、個々の児童に適した活動ができるように工夫し、支援計画を作成しております。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		支援前後の打ち合わせを行い、支援内容や負担の確認、支援の振り返りを行っております。全職員にて意見交換をし、次の支援につながるような支援方法改善等に努めております。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5		支援前後の打ち合わせを行い、支援内容や負担の確認、支援の振り返りを行っております。全職員にて意見交換をし、次の支援につながるような支援方法改善等に努めております。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		支援終了後に個々の児童の気づき点を記録し、ミーティングの際には改善案等を検討しております。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		半年に一度、計画の見直しを行うためのミーティングを行い内容を更新しています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5		4つの基本活動を組み合わせながら児童の特性に配慮し、さまざまな活動や支援を行います。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5		活動を行う際に児童の特性に配慮をし、参加の選択をしやすいように支援をしています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		児童発達管理責任者が参加し、必要であれば他スタッフも参加させて頂いております。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5		必要であれば学校で担当者会議を行っています。	教育機関（学校の担当者会議）との連携は行っているが、他の機関との連携が行っていない。今後取り組んでいきたい。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5		保護者様を通して情報共有をさせて頂いております。	個人情報の観点から細かい部分の情報共有が出来ていないのが現状の為、今後、各種関連機関との連携を強めていけるよう努めてまいります。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5		個人情報の観点から難しい点もあるが、極力情報の共有に努めています。	保護者様からの各施設での様子を聞き、情報を共有して相互理解に努めてまいります。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5		必要に応じて情報提供等を行うことができます。今年度は該当者なし。	情報提供できる環境作りを努めてまいります。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5		関連機関の研修会に参加しております。	引き続き研修会等に参加できるよう努めてまいります。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	3	近隣児童館への利用を行う予定です。今年度はあま校との合同イベントを実施いたしました。	今後も、近隣児童館利用との交流を深め、他事業所等との交流の機会を検討していきます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3	2	協議会等への参加は行っております。今後も積極的に参加していきたいと思っております。	協議会等への参加を積極的に行ってまいります。
34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		送迎時には保護者様に活動内容等をお話させて頂いております。		

保護者への説明等	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	現状、保護者様に対してペアレントトレーニング等の支援は十分と言えない部分がある為、今後、強化できるよう努めてまいります。	ご家族様等が参加できる研修会を検討していきます。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	契約時に説明をさせていただいております。また、不明点があれば随時、職員が説明をするようにしています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	ご利用開始前、モニタリングまたはご相談があった際に、ヒヤリングを実施しております。また、支援の中で児童からのヒヤリングも実施しております。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5	モニタリングの際に保護者様に支援内容の説明を行い同意を頂いております。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	希望に応じて相談を受け付けています。また、定期的なモニタリング時に相談の時間を設けています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	5	4月からの開所で職員も8月に1人追加、12月に1人追加し慣れたころにと考えております。	年1回保護者会を開催していく予定です。またバーベキューなどもやっていけたなあと考えております。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	相談や申し入れがあった場合、電話や面談にて迅速かつ適切に対応できるよう努めています。また、社内でも迅速に対応ができるよう年に1回社内研修を実施しております。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5	SNS等を通して事業所内での活動の様子を発信しております。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	個人情報が記載された書類は鍵付きのロッカーに保管しています。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	ことばと共に視覚的にわかりやすくなるように絵カードやチェスチャー等を利用するなど、伝わる方法や意思疎通の方法を児童や保護者に合わせるようにしています。	
45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5		今後、実施を検討していきます。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	マニュアルについて職員ミーティングにて対応方法等の周知、訓練を実施している。保護者様には契約時に説明、書面配布を行っています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	年1回児童、保護者様を交えての避難訓練を実施しております。また社内研修・訓練も毎年実施しております。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5	利用前に保護者様に確認を実施しております。また、随時保護者様よりご連絡を頂き対応しております。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	おやつ、クッキング等の際にはアレルギーの有無を保護者様に確認しております。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	自然災害、火災、感染症、防犯等のマニュアルを作成し、各委員会の開催、研修、訓練を実施し、安全管理に配慮しながら支援を実施しております。	
51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	自然災害、火災、感染症、防犯等のマニュアルをHPにて公表しております。また、内容を更新した際にもご利用者様にご連絡させて頂いております。		

52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		毎月、事業所内で共有を行い原因、問題点、改善策等を立案しております。	
53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		年1回以上事業所内において研修を実施しております。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5		保護者様には、必要に応じて事前に十分に説明を行い承諾を頂いております。また、身体拘束を行わない為の支援方法を日々スタッフ間で話し合っております。	